

福井県と（公社）福井県観光連盟は、10月14日にANAクラウンプラザホテル広島（広島市中区）において、観光商談会を開催した。

中国地方から本県への誘客拡大につなげようと、県内から、ホテルや旅館をはじめとした観光施設、市町観光担当者など、19団体27名が参加。中国地方の旅行会社10社12名に対し、それぞれの施設の魅力、県内の食・自然・文化・歴史などの積極的な売り込みを行った。

プレゼンテーションでは、県側から福井県の観光素材についてアピールするとともに、周遊モデルコースを提案。

また、焼き鯖寿司や小鯛のささ漬けや銘菓を提供し、福井県の食もアピールした。

今後も、旅行会社へのフォローアップを積極的に行い、本県への旅行商品造成を確実なものとするとともに、中国地方での情報発信により、誘客拡大を図っていく。

<参考>

○参加者の声

（1）県内関係者の声

- ・まだまだ知名度が低い素材もある。（福井地区）
- ・広島の旅行会社にパイプがないので、商談会は良い契機となる。（奥越地区）
- ・北陸・福井がメディアに露出する機会が増えたこともあり、中国地方からの宿泊客も昨年より増えている。（福井地区）
- ・広島は新しいマーケットなので、今後も情報を流していきたい。（嶺南地区）

（2）旅行会社等の声

- ・北陸DCにより、福井への送客も延びている。金沢のついでにというわけではなく、福井そのものに魅力を感じているお客様も多い。
- ・観光協会のキャラバンなどで、福井の主要な観光地の情報は入ってくるが、今回の商談会で、今まで知らなかった、魅力あるまち歩きの情報なども仕入れることができた。
- ・食の提供は、魅力を直接感じられて嬉しい。
- ・福井は、今後伸ばしていきたいエリア。更に観光地、宿泊地や二次交通の情報が欲しい。
- ・現地での商談会、観光地の見学会もしてみたいと思った。

